

機 密

CVG-87
報告書番号61

行動概要

第87戦闘飛行隊長 C.E.インガルス・ジュニア海軍少佐により、当飛行隊の日本本土に対する戦争最後の攻撃を指揮。当初の計画では、当飛行隊は戦闘機12機、爆撃機15機、雷撃機15機で構成される部隊で、川崎にある日本電気第二工場へ攻撃予定だった。(実際には計画が変更され)千葉半島に位置する八街および成東の二つの飛行場が攻撃された。

最初に八街飛行場が爆撃され、戦果は大部分が観測不能。ただし、1機のベティー(一式陸上攻撃機)とジーク(零戦)が機銃掃射によって撃破された。その後、飛行隊による長者(太東カ)飛行場を偵察するも、無人状態だったため、続けて成東飛行場を攻撃。成東飛行場の掩体壕も大部分が空の状態、しかし1機の双発(エンジン)飛行機を発見し、炎上させて破壊。

遭遇した対空砲火は軽微。銚子付近から4、5発の重対空砲火が撃たれ、攻撃した飛行場では若干の軽対空砲火、しかし被弾機は無く、全機が無事に帰投した。

報告書作成者:
J.G.ウィリアムズ 海軍中尉、航空戦闘情報士官

承認者:
C.E.インガルス・ジュニア 海軍少佐、第87戦闘飛行隊長